

平成 30 年 9 月 13 日

小学校 6 年生保護者 様

春日井市教育委員会
教育長 水田 博和

「全国学力・学習状況調査」の結果について

初秋の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、4 月 17 日に実施されました「全国学力・学習状況調査」の個人票が、文部科学省から届けられましたので、配付いたします。

つきましては、下記の内容についてご理解をいただき、ご家庭でご活用いただきますよう、お願いいたします。

記

1 個人票について

(1) 個人票の形式 1 人につき、3 ページ（国語・算数・理科 各 1 ページ）

(2) 調査内容

① 国語 A・算数 A（主として「知識」に関すること）

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした出題。

② 国語 B・算数 B（主として「活用」に関すること）

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容を中心とした出題。

③ 理科（「知識」に関すること、「活用」に関することの両方を出題）

(3) 留意点

今回の調査で測定したのは、あくまでも、学力の一部であることをご理解ください。

2 その他

- ・ 別紙「個人票の見方について」をご参照ください。
- ・ 個人票の見方についてご質問がありましたら、学校までご連絡ください。

個人票の見方について

A 全国の状況(正答数ごとの児童の割合)

4月17日(火)に調査を受けた全国の児童の正答数別の割合を表しています。それぞれの児童の正答数に該当するグラフを濃い色で表示しています。

B 正答数(児童の正答数と全国の平均正答数)

- ・全問題中の合計正答数
- ・問題形式ごとの正答数
- ・学習指導要領の領域等別の正答数

C 出題内容と結果

①結果

○：正答 ×：誤答 ー：無解答

②全国の正答率

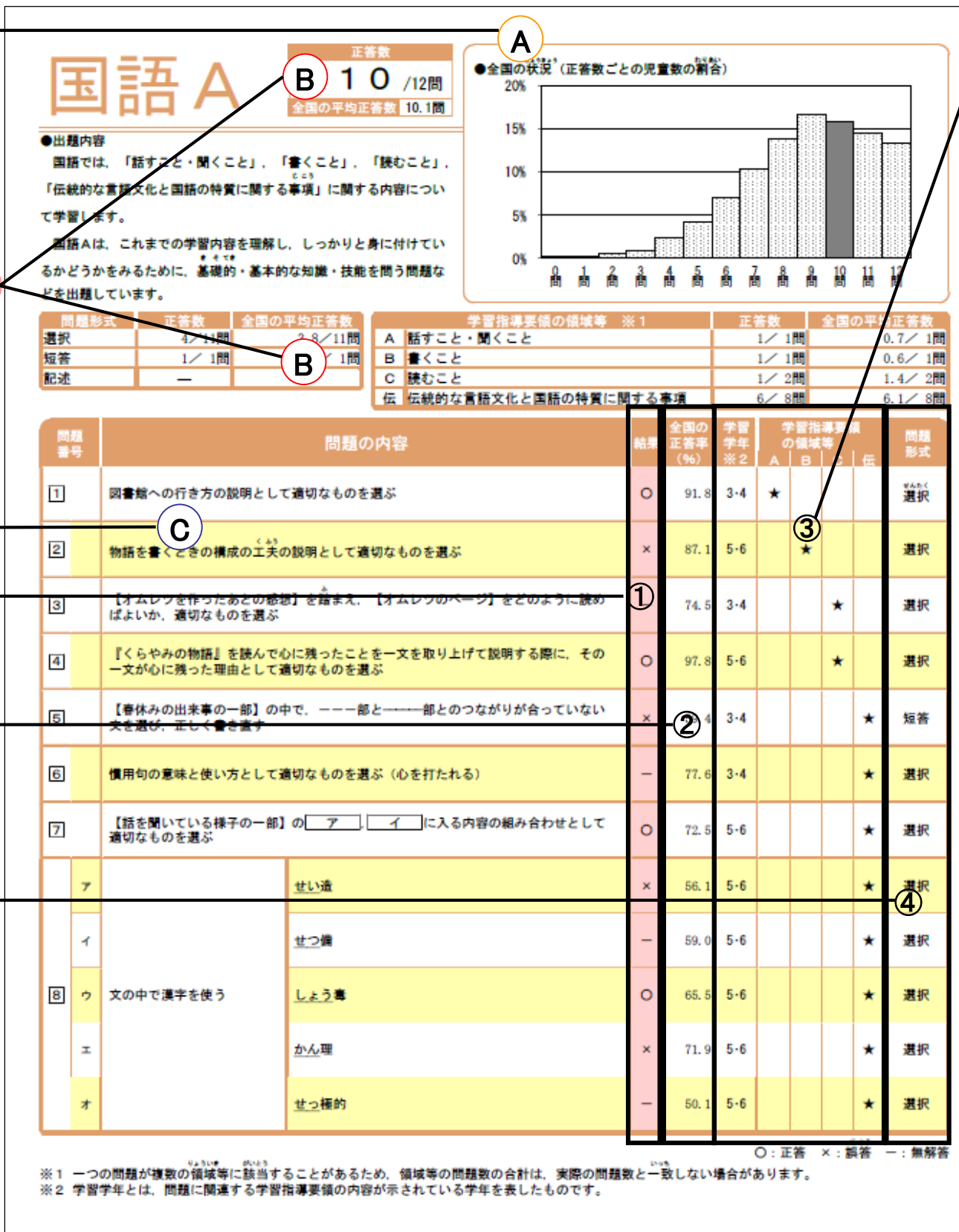
4月17日(火)に調査を受けた全国の児童の正答率を示しています。

④問題形式

選 択：選択式の問題

短 答：語句や短い文、数値、数式等で解答する問題

記 述：相手や目的、意図に応じて自分の考えなどをまとめたり、考察して見いだした事実や答えの求め方、考えが正しい理由などを説明したりする問題



③学習指導要領の領域等

各問題に関して、現行の学習指導要領における領域等と、その学習学年を示しています。

【国語・算数】

・学習学年：問題に関連する学習指導要領の学年

【理科】

- ・知識：主として「知識」に関する問題
数字は関連する学習指導要領の学年
- ・活用：主として「活用」に関する問題

【国 語】

A：話すこと・聞くこと

B：書くこと

C：読むこと

伝：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

→文語調の文章に触れること、言葉の特徴やきまり、文字に関することなど

【算 数】

A：数と計算

→小数や分数の意味の理解など

B：量と測定

→角の大きさの測定など

C：図 形

→平行四辺形など基本的な平面図形の性質についての理解など

D：数量関係

→グラフを用いた考察、数量の関係についての理解など

【理 科】

物：物 質

→「海水と水道水の区別」、「物の溶け方」など

エ：エネルギー

→「電流の向きと回路のつながり方」、「電流の向きと大きさ」など

生：生 命

→「鳥の翼と人の腕のつくり」、「腕が曲がる仕組み」など

地：地 球

→「流れる水の働き」、「増水による土地の変化」など